

**令和6年度 適正服薬推進通知等業務委託
プロポーザルに係る事業者選定評価項目等一覧**

No.	評価項目	評価基準	一次	二次
1	実施体制・連絡体制	①専門性を有する多様な業務を確実に履行する体制及び連絡体制 ※再委託先を含む。		30
		②実効性のある具体的なスケジュール		
		③コールセンターの体制		
2	実績	後期高齢者医療制度、国民健康保険及び被用者保険の各制度のいずれかにおいて、令和5年度を含めた過去3年度のいずれかの年度において、適正服薬推進通知(レセプト情報から該当者を抽出し、医療機関や薬局への相談を促す等の啓発通知)の業務委託に係る受託実績(契約期間の始期及び終期がともに令和3年4月1日～令和6年3月31日の期間内であるものに限る)	10	10
3	提案金額	提案金額の妥当性	10	10
4	通知書の様式等	①簡潔明瞭かつ被保険者が自身の服用している薬剤について改めて確認し、また医療機関や薬局へ相談を促す訴求力の高い通知記載内容、対象者の個々の状況に対応した内容		50
		②高齢者にわかりやすい通知や封入用封筒の様式・デザイン		
5	通知対象者の選定方法等	①高齢者の特性を踏まえた通知対象者の効果的・効率的な選定方法、優先順位の考え方		60
		②適正服薬に関する知識や情報取得と活用方法等		
		③都広域連合の健康課題を踏まえた効果的な通知対象者の提案の方向性		
6	効果分析等	①事業を効果的・効率的に実施する上で参考となる分析、詳細かつ多角的な分析項目の設定		50
		②都広域連合や62市区町村が活用できる簡明な分析資料の作成		
7	企画・意欲	①本業務を遂行する上での都広域連合の課題把握と具体的な対策	※	40
		②企画・提案の工夫、及びその実施の妥当性		
		③提案の内容のわかりやすさ、質疑応答の的確さ		
		④プレゼンテーションからの意欲、その他特筆すべき事項		

※一次審査では、評価項目2及び3により審査する。なお、同点が複数となり、上位4者が選定できない場合、評価項目7①(満点を10点とする)の評価の高い順に決定する。